

令和7年度第1回山城北地域保健医療協議会・山城北地域医療構想調整会議
協議結果の概要

1 開催日時：令和7年10月8日（水）午後2時～3時

2 場 所：京都府山城広域振興局 1階大会議室

3 協議結果

（1）宇治徳洲会病院に係る病床移転について（資料1）

・意見等なし

（2）山城北医療圏における病床整備状況について（資料2）

・意見等なし

（3）病床数適正化支援事業について（資料3）

・意見等なし

（4）2040年を見据えた地域包括ケアのあり方について（資料4）

（主な意見等）

＞2040年を見据えた場合、地域の医療・介護は成立するかとの不安がある。

＞2040年の京都府の中山間地域の生産年齢人口が7割も減少する中で、医療・介護の担い手が確保できるのか。今後、圏域を大きな形で形成しなければ、15年後は成立しないのではないかと危惧する。

（5）新たな地域医療構想について（資料5）

（主な意見等）

＞かかりつけ医機能は、一人一人が、かかりつけ医を持てという制度ではない。

＞各医療機関が、どんな医療等を提供しているかを報告するもの。

＞報告された内容を見える化し、地域で不足するサービスを議論することである。

＞新たな地域医療構想では、85歳以上の高齢者を地域で支える必要がある。

＞現在の地域医療構想調整会議のメンバーは、医療サイドが中心である。2040年を見据え、介護施設、ケアマネの団体だけでなく、介護、在宅医療、慢性期病院等を含め現場からの参加を求め、会議を進める必要がある。